



父親料理教室というのが繁盛しているそうです。中年の父親がエプロンをつけ、神妙な顔をして講習を受けている写真が週刊誌にも載っていました。

ふつ々の父親が自分の家の台所で料理をするというのは、以前はあまりないことでした。父親が自分の家庭を大事にするようになったこと、余暇時間が増えて父親の趣味の範囲が拡大されたこと、さらに家庭外で仕事をもつ母親が増え、それに関連して父親が食事の支度をするのに慣れていること、家事はいつも分担することになっている家庭が増加していることなど、いろいろな事情があると思います。わが国の家庭慣習、家庭の光景を変えた現象だと思えます。

親は概して機嫌がいいものです。いやだけれどもやらされているとか、やむを得ずやっているというときは違っていて、自分の好きなことをやっている父親は好機嫌なのです。これは料理に限られません。プラモデルをついたり、ピアノを弾いたり、要するに趣味のことをやっている父親は楽しい気持ちでいるのです。

料理をする父親

東京都立大学
教授・心理学

詫摩 武俊

家族としては、この父親の気持ちも大事にしてあげてほしいと思います。もともと料理が好きだった父親ではなく、最近友達などに勧められて何となくやり始めた父親のつくもの、当初から味が良いとは考えられません。母親のほうはずっと慣れていると思います。

それでも、父親の意欲を損なうような言葉や態度は控えて、むしろ激励するようにしてください。



や肉の料理をにぎやかに、なかやかに食べる光景はこれからの家庭のひとつの幸福像だと思います。

防ごう非行 助けよう立ち直り

社会を明るくする運動

第35回「社会を明るくする運動」が、7月1日から1カ月間全国で行われます。

この運動は、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場から犯罪のない明るい社会を築くことを目的としています。

ここ数年、少年非行は増加の一途をたどり、学校内や家庭内暴力など、非行の低年齢化が進んでいます。

今年の運動の重点目標は「地域活動の推進による少年非行の防止と更生の援助」です。保護

司や青少年相談員などの、地域の人々を主体とする活動を組織的に行い、犯罪のない明るい社会をみんなの力で築きましょう。期間中に「講演と映画のつどい」を開催する予定です。



俳壇

宇井 芝童
屑鉄の谷にも人語五月間

海保 きみ
花棕櫚の萌黄の色に地を染めて

向後 雅子
部屋ぬちに植込みの冷え五月間

鈴木 草庵
研ぎ立ての薄刃が錆びる梅雨の入り

鈴木 南知
家々の匂ひ異なる五月間

津田 若菜
柿の花ふりこぼし翅つ尾長鳥

戸村 静華
瀬音して旅寝の枕五月間

成田 様子
水まかせ家鴨ながるる涼しさよ

行方はじめ
初孫の拾ふも踏むも柿の花

藤代 ゆう
葉桜の影をくずして水路満つ

若梅あやめ
庭園灯そこだけ青く五月間

栗水
竹植えて老舗ぶりなり灯をこぼし
(選者) 土屋 栗水

科学万博 つくば'85



科学万博入場券の半券がある
と入場できる「つくばエキスポ
センター」に足をのばしては

- ▼サイエンスフォーラム
- ▼コズミックホール
- ▼子どもパーク 会場から約4km